



社団法人 **日本金型工業会** 東部支部

Japan *Dies Mold* Industry Association.
Eastern Division

日本の金型は世界一

東部支部ニュース

◆お祝い(春の褒章受章者)

◆トピックス

天皇陛下が池上金型工業株式会社を視察されました。

◆寄稿

「日本の金型は世界一」という
今の時代に
金型経営をどう考えるか。

2009

91

お 祝 い

東部支部ニュース90号でお知らせ致しましたが、長年のご功績が認められ、下記の東部支部会員の方々が藍綬褒章を受章されました。

藍 綬 褒 章

正会員 プラスチック型部会会員

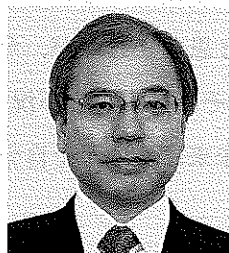
樫山金型工業株式会社

代表取締役会長 樫山高士 様



賛助会員 ファナック株式会社

代表取締役社長 稲葉善治 様



トピックス

◆ 天皇陛下が池上金型工業株式会社を視察されました。 ◆

5月29日（金）、天皇陛下は社団法人日本金型工業会東部支部 正会員 池上金型工業株式会社中曾根事業所（埼玉県久喜市）を産業施設視察の一環としてご訪問され、金型の設計、機械加工、組み立て、鏡面磨きと試作成形を視察されました。

陛下は組み立て工程で、液晶テレビ筐体用の金型と成形品をご覧になり、池上社長より作業内容や技術継承の取り組み等の説明を受けられました。

また、ご視察後には同社役員及び社員約20名と親しく懇談され、昼食時には、高市早苗経済産業副大臣、望月晴文経済産業省事務次官、塚本修関東経済産業局長等随行の方々と一緒に、社員食堂のカレーライスを召し上がりました。

『日本の金型は世界一』という 今の時代に金型経営をどう考えるか。

副支部長兼ゴム型部会長
株式会社森谷鉄工所 代表取締役社長

森谷長治 様



東部支部ニュース第86号より、東部支部副支部長に順番で寄稿して頂いております。今号は、副支部長兼ゴム型部会長の株式会社森谷鉄工所 代表取締役社長 森谷長治様に寄稿して頂きました。

東部支部ニュースより寄稿してほしいとの依頼を受け、何を書こうかと思いましたが、今皆さんが一番苦慮している事。それは現在の不況であり、これからの金型作りに未来はあるかを自分なりに書いてみました。

2008年（平成20年）は、誰にとっても忘れられない年になってしまいました。アメリカの大手証券会社、リーマン・ブラザーズの破綻に始まる金融危機は、100年に一度の津波と表現されるような勢いで世界経済を破綻に向かわせました。当初、日本の金融は健全だから我が国に及ぼす影響は少ないなどと政治家達は言っていましたが、日本を代表する有名大手企業が次々に赤字に転落し、生産を大幅に縮小するという様を見て、私も途方に暮れてしまいました。この平成の大不況は、日本社会に生きる人達の暮らしに打撃を与えました。まず、大量のパート・派遣の労働者が首を切られ、「リストラ」という名の解雇は正社員にも及びました。人々はものの考え方、生き方を変えざるをえなくなっています。今までのものの考え方、生き方は日本経済が右肩上がりの成長を続け、輸出

も好調に続くという前提の上に立っていたのです。

これが両方とも危うくなった現在、ここで「改革」をやめてはいけないと主張する人達があります。この危機を乗り切るには、もっと構造改革を進めなくてはいけない、構造改革が足りないから、このような危機に直面して、なすすべもないのだというのです。

しかし、日本に住む全ての人々が感じているように、私達にこれ以上の改革は受け入れがたい、その痛みに堪えられないというのが現実だと思います。皆で助け合う、ワークシェアリングをして、それぞれの収入は減っても職を守ろうという考えを強くしています。

人々の考え方には確実な変化が現れています。無理をしないで静かに平穩に楽しんでゆこう、外国とも日本国内の仲間とも競争をせずにやっぺいこうという意見の人が多くなったのです。これに対して競争こそが戦後日本の繁栄を築いたのであり、日本は貿易で生きていかななくては将来に見通しが開けないと反論をする人もいます。

しかし、もはやこのような意見で全ての人を説得する事は出来ないようです。

私は今までのような一心不乱な生き方が、日本人は出来なくなっていると思えるのです。このような時代に必要なのは極端な事はやめて無理をしない、任せるという気持ちです。

やはり日本人は努力に努力を重ねてゆくべきだという人は、そのように走り続ければよいのだと思います。しかし、今まで操り人形のように競争思想に操られてきた人達がこれからは楽に生きていこう、無理しないようにしようと思う事をもはや誰も止められないのではないのでしょうか。

必死の努力を続けなければ、日本は成り立たないと主張する方々も本当にそうなのかどうかはわかっていないのです。無理をしない方法でやってみたら大丈夫だという可能性は大きいと思います。

日本の工業の目標は戦前から大量生産だったのです。戦争中には武器、弾薬を大量に、効率よく作る必要があったのですが、敗戦によってアメリカとの生産技術の差を思い知らされました。でも戦後はその努力が輸出に向けられました。相手はアメリカで生産性や合理化、そして、技術進歩の促進を支える経済が日本中には必要だったのです。今は一貫してマーケットは海外に有り、日本が必要としたのは、外国と競争するための経済であり、そこでは新商品開発は後回しにされ、外国で売れるものは、外国にあるのだからとの考え方で、同等なものは安く作れば良かったのです。時代は変わり、国際化と呼ばれ、同じ言葉がグローバルという名の下で21世紀に入って10年が経とうとしている今日未だに、生産中心、輸出中心の経済が残っているから困ることになるのです。この

未曾有の不況、混迷、動乱、の中にあって心に明るさと、ささやかな満足をもって生きる事が出来ないかと思っています。

日本での金型作りがいくら働いてもまるで儲からないし、先も見えない、多くの経営者がこんな悩みを抱え、マイナスのスパイラルを恐れている。厳しい今という時代、過去の歴史と哲学から学び、自分自身の目で現実を確かめ、次に起こり来る事を予測し準備しておけば、生き延びる事が出来るはずだと思います。

しかしながら、生き延びる戦略は、個人それぞれが奮い立って行い、今はマイナーだけと「今後おそらく必要となるもの」を見つける。マイナーであれば競争が激しくないし、パイも十分にあり、コツコツと独自性を身につけられるので、実は良いことだらけの世界なのです。でも忘れてはいけないのは、マイナーと言ってもあくまで今後必要をされるであろうモノ、ないしは企業の一部門のように「最低限必要をされ続けているもの」という前提であっての話で、最低限の要素もない状態が続いたり、全く日の当たらない「ど・マイナー」へ急降下したりするものだったら成り立ちません。だからこそ「見出して育むチャンス」という観点は重要なのです。世の中の時流や空気なんて変化して当たり前で、そんなものに一喜一憂しても仕方がない。確かに、その昔は「構造改革パンゼイ」のように言われてた時代もあった。今や格差社会を作った元凶などとさんざん批判されまくりです。今の日本の金型作り環境からいって、日常当たり前のように「空気を読めよな」といった言葉が飛び交いますが「空気を読む」という行為には善し悪しがつきまとうのです。つまり時流に乗らなけ

ればならないようなケースでは「空気を見極める」事は絶対に必要にならなければ時流からズレた方向へ行ってしまうかねません。変転のやまない現実の中で今どのようにして、技術とアイデアを持ってモノづくりを行っていくか、今評価されても次を探そうとするしかないのです。

日本の技術力はものづくりが大好きな国民の趣味嗜好が背景にあるので、アマチュアが趣味の段階でフィギュアや模型のようなロボットをつくる、そこから始まって、それが世界最先端ロボットも作るようになるのです。さらに、日本人は豊かな創造力があります。以前、日本はITでアメリカに大きく遅れていると言われていたのですが、別に今はその事を悲観などしていません。現在はITという道具の使い方は日本の方が上手く、さらに、日本人は縮み志向が得意で、小さな入れ物にたくさんの物を入れる事が出来ます。そのお手本が龍安寺の石庭で、たったあれだけのスペースに大海原を表現しています。本来日本人は、豊

かな遊び心を持っていたので、縮み志向との組み合わせによってはいろいろな分野で、突破口として期待出来ます。次に、日本には強い消費者がいます。ユニクロは日本の衣料品市場で勝ったが、それは同時に中国に対して輸入を持つことだったからです。携帯でもパソコンでも同じ現象です。日本市場は高品位を求めるがそのための開発費を払ってくれるから、日本市場で勝つ事はそのまま世界への輸出品を開発する事に繋がるのです。

経営者の力量とは「言葉と知恵」であり、それが同時に経営者の顔であり、今こそ日本企業は自らの底力を知るべきでしょう。かつてのような馬鹿馬鹿しいほどの能天気はダメですが、過度の悲観はもっとダメです。孟子曰く「為さざるなり、能わざるに非ざるなる」(出来ないのではなくて、やらないのではないですか。)

日本の会社の底力は我々の想像以上にあり、見方によれば今ほど経営が刺激的で面白い時代はあるまいと思います。

社団法人日本金型工業会東部支部 第15回定時総会議事録



1. 日時 平成21年5月22日(金)
開会 午後3時00分
閉会 午後4時00分

2. 場所 東京都台東区上野公園4-58
上野精養軒 2階 梅の間

3. 出席者

正会員総数	216社
出席正会員	68社
委任状出席	99社
合計	167社

4. 議事の概要

(1) 開会

定刻に牧野支部長から社団法人日本金型工業会東部支部第15回定時総会を開会する旨宣した。

(2) 支部長挨拶

牧野支部長から挨拶があった。

(3) 議事

支部規約第15条の規定に基づき、牧野支部長が議長に就任した。

議長が、正会員数216社のうち委任状出席を含めて167社の出席を得て、支部規約第17条の規定に基づき、本定時総会が成立することを報告した。

第1号議案

平成20年度事業報告承認の件

議長は、鈴木事務局長に平成20年度事業報告について説明させ、続いて岩壁前天青会会長に天青会の平成20年度事業報告について説明させた。

議長は、質問の有無を問うた後、これを議場に

諮ったところ、異議なく、全員一致をもって原案を承認した。

第2号議案

平成20年度決算報告承認の件 同上監査報告

議長は、鈴木事務局長に平成20年度決算報告について説明させた後、松田監事が決算書類につきましては総て正確であり、資金運用も的確であると判断致しました。従いまして、本決算については適切である事を認めますとの監査報告を行った。

議長は、質問の有無を問うた後、これを議場に諮ったところ、異議なく、全員一致をもって原案を承認した。

第3号議案

平成21年度事業計画案承認の件

議長は、平成21年度事業計画案について、その概要を鈴木事務局長、技術委員会の事業計画案を鈴木委員長、経営労務委員会の事業計画案を原田委員長、広報委員会の事業計画案は高橋委員長が欠席の為小野委員、運営委員会の事業計画案を早川委員長、活性化委員会の事業計画案を並木委員長に説明させた。

議長は、質問の有無を問うた後、これを議場に諮ったところ、異議なく、全員一致をもって原案を承認した。

第4号議案

平成21年度収支予算案承認の件

議長は、鈴木事務局長に平成21年度収支予算案について説明させた。

議長は、質問の有無を問うた後、これを議場に諮ったところ、異議なく、全員一致をもって原案を承認した。

(4) 閉会

以上をもって、社団法人日本金型工業会東部支部第15回定時総会の議事を全て終了したので、議長は議場にその協力を謝し、引き続き佐藤副支部長が閉会を宣言し、閉会した。

懇親会に先立ちまして午後3時から講師に野村證券株式会社 産業戦略調査室 主任研究員 宮崎智彦様を迎え、「金融恐慌とガラパゴス化する日本の製造業」というテーマで特別講演会を開催致しました。

宮崎様



懇親会

● 経営労務委員会

(天青会と合同開催 第3回挑戦する若手経営者の話を聞く会)



日時：平成21年6月19日(金) 午後3時～5時

場所：湯島、金型年金会館5階会議室

出席者：57名

講演①：テーマ 「新生サイベックの将来像に向けた挑戦」

講師 株式会社サイベックコーポレーション
代表取締役社長 平林巧造 様

講演②：テーマ 「金型→試作品加工への業務転換と今後の経営ビジョン」

講師 株式会社長山工業
代表取締役社長 長山英一郎 様

※5時30分より東天紅上野本店にて交流会

● 活性化委員会

(東部支部主催 第1回スキルアップ研修会)

日時：①平成21年6月25日(木)～6月26日(金)

2日間コース

6月25日(木) 午前9時30分～午後5時30分

6月26日(金) 午前9時30分～午後3時30分

②平成21年7月3日(金) 1日コース

7月3日(金) 午後9時30分～午後5時

③平成21年7月10日(金) 1日コース

7月10日(金) 午前9時30分～5時

講師：①榎本太一 様

(㈱牧野フライス製作所 マネージャー)

原田猛史 様 (㈱牧野フライス製作所)

②根本政典 様 (㈱牧野フライス製作所

EDM営業技術課課長)

堀内貞徳 様 (㈱牧野フライス製作所

EDM営業技術課チームリーダー)

③加藤唯雄 様 (㈱牧野フライス製作所

EDM営業技術課スペシャリスト)

江田 勝 様 (㈱牧野フライス製作所

EDM営業技術課)

場所：湯島、金型年金会館5階会議室

内容：①「高速加工の基礎と最新加工技術の動向」

②「ワイヤ放電加工の基礎」

③「型彫り放電加工の基礎」

参加者：① 26社 66名

② 15社 23名

③ 18社 30名

● 技術委員会

(第2回技術委員会)

日 時：平成21年7月16日(木) 午後3時～5時

場 所：湯島、金型年金会館3階会議室

出席者：8名

- 内 容：1. 第37回金型関連技術発表講演会の
内容に関する件
2. WGに関する件
3. 金型ヒントフォーラムの今後に関
する件
4. その他

部会の動き

プラスチック型部会

(第1回幹事会)

日 時：平成21年6月24日(水) 午後4時～

場 所：湯島、金型年金会館3階会議室

- 内 容：1. 各地区会報告
2. 東部支部からプラスチック型部会への
運営補助金の取り扱いに関する件
3. 平成21年度プラスチック型部会活動
内容に関する検討
4. その他
※午後6時から東天紅3階「玄遊」にて懇親会

プレス型部会

日 時：平成21年5月27日(水) 午後6時～

場 所：湯島、金型年金会館

出席者：16名

- 内 容：1. 情報交換
2. 今後のプレス部会の活動内容について
※午後6時から東天紅3階「玄遊」にて懇親会

(全国プレス型部会)

日 時：平成21年7月10日(金)～7月11日(土)

場 所：京都府舞鶴市

参加者：23名

- 内 容：1. 株式会社エナミ精機 舞鶴工場見学
2. 白糸旅館にて全国プレス型部会開催
3. 舞鶴海上自衛隊訪問等

ゴム型部会

日 時：平成21年5月28日(木) 午後6時～

場 所：浅草、金泉

出席者：13名

- 内 容：1. 平成21年ゴム型部会の開催
スケジュールの件
2. その他

日 時：平成21年6月26日(金) 午後6時～

場 所：浅草、アラスカ

出席者：13名

- 内 容：1. 平成21年ゴム型部会の開催
スケジュールの件
2. その他

(ゴム型ユーザー殿向け加工技術セミナー)

日 時：平成21年7月23日(木) 午後2時～5時

場 所：式会社牧野フライス製作所

出席者：22名

内 容：1. 切削セミナー

テーマ：最新加工技術のご紹介

2. EDMセミナー

テーマ：最新加工技術のご紹介

3. 本社ショールーム、

加工技術センター見学

セミナーの後、午後5時30分からゴム型部会

場 所：都立大学、日本料理「ひのや」

出席者：21名

内 容：1. 平成21年ゴム型部会の開催

スケジュールの件

2. その他

(ゴム型若手会)

日 時：平成21年6月18日(木) 午後4時～

場 所：湯島、金型年金会館3階会議室

内 容：1. 情報交換

2. 今後の若手会スケジュール

天青会だより

第1回勉強会

(第1回勉強会)

日 時：平成21年7月17日(金) 午後3時～5時

場 所：湯島、金型年金会館5階会議室

内 容：講演 テーマ「私のものづくり履歴書と

これからの経営ビジョン」

講師 由紀精密工業株式会社

常務取締役 大坪 正人常務 様

※午後5時30分かつきじ植むら しのば

す庵にて懇親会

■ 金型技術教育マニュアル（新入社員あるいは若年従業員再教育用）

東部支部技術員会（鈴木光一委員長）では、金型企業向けに「金型技術教育マニュアル」をNo.1～No.6までシリーズで発行（初版昭和61年）しております。

本マニュアルは、金型企業の新入社員初等教育用あるいは若年従業員再教育にご利用頂けるように写真、イラスト等を多数掲載し、活字嫌いの人にも読みやすいように編集しております。価格を大幅に値下げ致しましたので是非ご利用下さい。

記

■ 金型技術教育マニュアルシリーズ

	会員価格	非会員価格
No.1 「図面の読み方」	500円（税 込）	1,000円（税 込）
No.2 「フライス加工の基礎」	500円（ 〃 ）	1,000円（ 〃 ）
No.3 「放電加工の基礎」	500円（ 〃 ）	1,000円（ 〃 ）
No.4 「仕上げ作業の基礎」	500円（ 〃 ）	1,000円（ 〃 ）
No.5 「NC工作機械の知識」	500円（ 〃 ）	1,000円（ 〃 ）
No.6 「研削作業の基礎」	500円（ 〃 ）	1,000円（ 〃 ）

以上のマニュアルをご希望の方は東部支部事務局まで、電話（03-5688-1455）またはFAX（03-5688-1456）にてお申込下さい。（送料は実費負担となります）